


 検索

- はじめに
- 外国語版HP
- 刊行物
- 言語サービス
- 掲示

各区の概況調査

新宿区概況

国文学科 北村明子

区を紹介

区内で最も外国人登録者が多い区で、とりわけ韓国人・中国人が多数居住している。
友好都市は長野県伊那市(旧高遠町)・レフカダ町(ギリシャ)・ベルリン市ミッテ区(ドイツ)・北京市東城区(中国)。

◎韓国人の多い区

終戦後は日雇い労働者や在日朝鮮人などが空き地や山手線・中央・総武線のガード下などに住むようになり、現在の久保界隈の原型が形成された。1950年代には朝鮮戦争の影響で朝鮮人が流入。現在のようなコリアタウンが成立した。

韓国で海外旅行が自由化された1980年代末以降、いわゆるニューカマーの韓国人の住民が増え始め、国際化・グローバル化の影響で1990年代以降韓国・中国・フィリピン・タイなど周辺アジア諸国関連の店舗や留学生向けのアパート・日本語学校などが増加した。

人口の変化

人口	30万7415人	前年比 5,459人増
住民基本台帳人口	27万7078人	平成19年1月1日現在
住民基本世帯数	16万2567世帯	
外国人登録人口	3万337人	
人口動態		
社会増(転入・帰化など)	2万8998人	平成18年1月～12月
社会減(転出・国籍喪失・失踪など)	2万7348人	平成18年1月～12月
出生	1,963人	平成18年1月～12月
死亡	2,306人	平成18年1月～12月

外国人登録者数の内訳と人数の変化

11 外国人世帯及び人口 (各年1月1日現在)

年次	区分	世帯	総数	性別		国籍別人口(各年の多い順)						
				男	女	韓国又は朝鮮	中国	マレーシア	ミャンマー	フランス	その他	
16		24,000	29,143	13,982	15,161	10,957	9,762	942	936	926	5,620	
17		23,035	28,272	13,451	14,821	11,384	9,289	880	831	796	5,092	
18		24,097	29,765	14,122	15,643	12,678	9,410	998	788	778	5,113	
19		24,667	30,337	14,394	15,943	13,392	9,268	1,016	833	833	4,995	

(地域文化課戸籍住民課)

外国人人口は韓国または朝鮮人、次いで中国人が圧倒的に多い。平成16年次では三位がマレーシア人だったが、平成17年以降はフランス人がマレーシア人を抜いている。

外国人登録者の多い国・地域の主要言語

大久保周辺のコリアタウンでは、やはり日常会話などには韓国語が用いられるのだろうが、1990年代以降

各区の概況調査

- ▶千代田区
- ▶中央区
- ▶港区
- ▶新宿区
- ▶文京区
- ▶墨田区
- ▶江東区
- ▶品川区
- ▶目黒区
- ▶大田区
- ▶世田谷区
- ▶中野区
- ▶杉並区
- ▶豊島区
- ▶北区
- ▶板橋区
- ▶練馬区
- ▶足立区
- ▶江戸川区

調査用マニュアル(PDF)

印刷用PDF

日本語学校が増えており、日本語を話せる韓国人も増えているのではないだろうか。一方で、韓国人ニューカマー親睦団体「韓人会」は、「新宿区若松町には、韓国人学校があるので近くに住む人はいいが、全国に韓国系の学校は4校しかない。朝鮮総連系の学校は結構あるが、韓国系の学校は少なく、母国語を教える場所が少ない」と母国語教育の必要性を強調している。

【参考文献】

[新宿区公式ホームページ](#)

[ウィキペディア - 新宿](#)

[ウィキペディア - 大久保](#)